

東海テレビ放送

社長記者会見

【発表資料】

◆日時 平成26年2月5日（水） 午後2時00分～

◆場所 東海テレビ 7A会議室

■ 55周年記念番組

<番組名> 「東海テレビ開局 55周年記念 浅田真央 11年間の記録」(仮)

【放送日時】 平成 26 年 3 月 17 日 (月) 19 時 00 分～19 時 54 分 (54 分 予定)

【放送エリア】 ローカル放送

【放送形式】 VTR 構成

【ナレーター】 香里奈

【内 容】

5歳でフィギュアスケートを始めてから、その道一筋に努力し続けた浅田真央。ソチ五輪では自身の集大成の演技を見せたいと意気込んでいる。番組では、2003年から2014年までの11年間にわたる密着取材をもとに、最高の舞台に立つ浅田真央の真実に迫る。

真央のスケート人生には、いつもすぐそばに家族の存在があった。練習をつきつきりで見守った母と、精神的な支えとなった姉・舞。ときに栄光をつかみ、ときに挫折を味わいながら、家族全員で、オリンピックの金メダルを目指した。

バンクーバーオリンピックから4年…。いいときもあった、辛いときもあった。「経験があるから、今は穏やかに練習できる。」適度に休息をとり、体調管理に気を使う日々。「カウントダウンは始まっている。あと少しだから、何があってもがんばれる。世界で自分だけができる、最高のプログラムを完成させてみせる！」

退路を断って迎える今シーズン、決意を胸に高みを目指す浅田真央。そして、フィギュアスケーターとして最高の舞台ソチオリンピックを迎える。

番組では、不世出のフィギュアスケーター浅田真央の全軌跡を振り返るとともに、多くの人々に感動を与え続けた一人の稀有なアスリートの映像の集大成、努力と才能、そして家族との絆を描く。

<番組名> 「東海テレビ開局 55 周年記念

minimini ドラマスペシャル ハンドベル卒業式」

- 【放送日時】 平成 26 年 3 月 16 日（日） 13 時 45 分～15 時 00 分（75 分 予定）
- 【放送エリア】 ローカル放送
- 【放送形式】 V T R 構成
- 【原 案】 東樹れい子：「鐘の音 堂にみち」
秋田書店『エレガンスイブ』（コミック誌）掲載
- 【企 画】 横田誠（東海テレビ）
- 【主題歌】 藤田麻衣子「つぼみ」（ビクターエンタテインメント）
- 【脚 本】 岡村光
- 【演 出】 阿部雄一
- 【プロデュース】 西本淳一 猪飼健夫（東海テレビ） 佐野奈緒子（大映テレビ）
- 【制作著作】 大映テレビ株式会社
- 【制 作】 東海テレビ放送
- 【出 演】 高島礼子 塚本高史 蒔田彩珠
遠山俊也 川辺優紀子 兵藤ゆき 若林豪 ほか

【内 容】

爽やかな感動を、音楽とともに！

この物語は、ハンドベル教育を通して、子供たちが生き生きと成長する姿を描いた東樹れい子さんの作品を原案に、オリジナルストーリーとしてドラマ化。

聴覚障害を持つ子どもとその母親の親子の絆、そして、半年間だけという期限付きで臨時採用された聾学校の新任音楽教師の成長の物語。

主人公・黒岩あずさ（高島礼子）が一人娘の美音（蒔田彩珠）を転校させた聾学校に赴任してきた佐竹憲太（塚本高史）は美音に音楽の魅力を伝えようと、ハンドベルを学校の授業に取り入れる・・・。

ハンドベル以外にもこの物語では、母親が歌い聞かせていた子守唄、大切な人へのメッセージソングなど、親子の愛を感動的な音楽で包み込む。

音楽は、時に癒しであり、時に感情を高ぶらせ、人々の心に沁み渡る。

思いやりをもって明るく前向きに生きていくことの尊さを、心地よいハンドベルの響きと心安らぐ音楽とともにお届けする。

<参考>

◇開局 55 周年特別番組（既に放送済）

- ①「ドラマの底力 最優秀作品 そんなこんなで女は走る」（ローカル放送）
放送日時：平成 25 年 3 月 17 日（日）午後 1 時 45 分～午後 3 時
- ②「真夜中のお伊勢さん ～遷御の夜に生放送～」（ローカル放送）
放送日時：平成 25 年 10 月 2 日（水）午前 1 時 08 分～2 時 38 分
- ③「わんだほ感謝祭スイッチ！SP ～みんなつながる～」（ローカル放送）
放送日時：平成 25 年 10 月 26 日（土）第 1 部午前 9 時 55 分～午前 10 時 55 分
第 2 部 正午～午後 2 時
- ④「式年遷宮特別番組 神宮希林」（ローカル放送）
放送日時：平成 25 年 11 月 3 日（日・祝）午後 1 時 45 分～午後 3 時

◇開局 55 周年記念イベント（終了したイベント及び開催中のイベント）

- ①「シルク・エロワーズ[iD(アイディー)]」
開催期間：平成 25 年 2 月 27 日（水）～3 月 3 日（日） 全 8 公演
会 場：愛知県芸術劇場大ホール
- ②「スーパークラシックコンサート 2013-2014」
開催期間：平成 25 年 4 月 22 日（月）～2014 年 1 月 5 日（日） 全 4 公演
会 場：愛知県芸術劇場 コンサートホール
- ③「DAIHATSU presents MICHAEL JACKSON THE IMMORTAL WORLD TOUR
BY CIRQUE DU SOLEIL」名古屋公演
開催期間：平成 25 年 5 月 23 日（木）～5 月 26 日（日） 全 6 公演
会 場：日本ガイシホール
- ④「名古屋オクトーバーフェスト 2013」
開催期間：平成 25 年 7 月 5 日（金）～7 月 21 日（日）
会 場：久屋大通公園
- ⑤「アートアクアリウム展 ～名古屋・金魚の雅～」
開催期間：平成 25 年 8 月 9 日（金）～10 月 1 日（火）
会 場：テレビピアホール
- ⑥「わんだほ感謝祭 2013」
開催期間：平成 25 年 10 月 26 日（土）、27 日（日）
会 場：久屋大通公園
- ⑦「大名古屋らくご祭 2013」
開催期間：平成 25 年 12 月 20 日（金）～12 月 23 日（月・祝）全 7 公演
会 場：名鉄ホール

⑧「美女と野獣」※劇団四季創立 60 周年/東海テレビ開局 55 周年記念

公演期間：平成 26 年 1 月 12 日（日）～3 月 30 日（日）

※6 月 29 日（日）まで追加公演決定

会 場：新名古屋ミュージカル劇場

■その他・事業イベント

<イベント名>「ダイハツ オーヴォ 名古屋公演」

【公演期間】 平成 26 年 11 月 20 日（木）～平成 27 年 2 月 1 日（日）全 103 公演予定

【会 場】 名古屋ビクトップ（ナゴヤドーム北）

【主 催】 東海テレビ放送/中日新聞社/東海ラジオ放送/フジテレビジョン/
サンデーフォークプロモーション/テレビ静岡/N S T/長野放送/
富山テレビ/石川テレビ/福井テレビ

【後 援】 カナダ大使館/ケベック州政府在日事務所/ケベック州政府観光局 他

【協 力】 日本航空 他

【企画制作】 フジテレビジョン/シルク・ドゥ・ソレイユ

【特別協賛】 ダイハツ工業

【内 容】

史上最大のスケールで繰り広げられるアクロバットが史上最小の世界を描くファンタジー。ビクトップツアー史上、最大のセットを使用する演目や、最も美しい空中演技と評される演目、かつてないスケールと芸術性を融合させた圧巻のアクロバットの数々で、草木の下の生き物たちの世界を、コミカルにファンタジックに描いたシルク・ドゥ・ソレイユ初となるファンタジー作品。

「オーヴォ」とは「卵」を意味するポルトガル語。「卵」は「命」の象徴。カラフルで個性的な動きを見せるキュートなキャラクターたちに癒され、純粹で一途な恋の物語に心が温まる。美しく壮大な自然の中で小さくもたくましい「いのち」がいきいきと躍動するその姿は、身近な自然への愛、生きることの喜びを思い出させてくれる。まさにサーカスを越えたエンターテインメント。

〈イベント名〉「Super Classic Concerts 2014－2015」

- 【公演期間】 平成 26 年 3 月 19 日（水）～平成 27 年 1 月 29 日（木）全 8 公演
【会 場】 愛知県芸術劇場コンサートホール/大ホール
【主 催】 東海テレビ放送
【後 援】 愛知県
【協 力】 クラシック名古屋

【公演内容】

1. 『小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXII モーツァルト歌劇「フィガロの結婚」』

平成 26 年 3 月 19 日（水）18 時 30 分開演

（音楽監督・指揮）小澤征爾

（指揮&チェンバロ）テッド・テイラー

（演出）デイヴィッド・ニース、（管弦楽）小澤征爾音楽塾オーケストラ

（合唱）小澤征爾音楽塾合唱団

世界の小澤が 5 年ぶりに名古屋に登場。全国ファン待望のオペラ復活！小澤とテッド・テイラーの 2 人の指揮による「フィガロの結婚」新演出！

2. 『ラン・ラン ピアノリサイタル』

平成 26 年 4 月 24 日（木）18 時 45 分開演

（演目）ショパン：バラード第 1 番～第 4 番

モーツァルト：ピアノソナタ第 5 番、第 4 番、第 8 番ほか

一度聴いたら虜になる！絢爛たる表現力！多彩な音色、熟練のテクニック！
高い音楽性！今や世界を舞台に大活躍のピアノ界のスーパースター、ラン・ランが名古屋に再登場！

3. 『東海東京証券 presents 大野和士指揮 フランス国立リヨン歌劇場管弦楽団』

平成 26 年 6 月 27 日（金）18 時 45 分開演

（演目）ムソルグスキー（ラヴェル編曲）：組曲「展覧会の絵」

ストラヴィンスキー：バレエ音楽「ペトルーシュカ」（1947 年版）ほか
今や世界的評価を得ている指揮者・大野和士が手兵フランスの国立リヨン歌劇場を率いて登場！オペラハウスのオケならではの描写力を生かして繰り広げる華麗な大絵巻！

4. 『佐渡裕&シエナ・ウインド・オーケストラ』

平成 26 年 8 月 14 日（木）17 時 00 分開演

（演目）伊福部昭：シンフォニア・タップカーラ

ヨハン・デ＝メイ：カサノヴァ～チェロとウインド・オーケストラの
ための～音楽のおもちゃ箱～佐渡裕のトークと音楽～ ほか

(チェロ) 宮田大

熱血指揮者・佐渡裕と全国で大人気シエナ・ウインド・オーケストラが2年ぶりに名古屋に登場！情熱・感動・興奮を呼ぶ。

5. 『ワレリー・ゲルギエフ指揮 マリンスキー歌劇場管弦楽団』

平成26年10月16日(木) 18時45分開演

(演目) チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番、交響曲第6番「悲愴」ほか

(ピアノ) ダニール・トリフォノフ

カリスマ性で魅了する指揮者、ゲルギエフが手塩にかけたロシアを代表する熟練オケとロシア生まれの俊鋭ピアニストを得て、チャイコフスキーの神髄をお届けする。

6. 『シュトイデ弦楽四重奏団 with 藤原道山』

平成26年11月23日(日) 13時30分開演

(演目) バッハ：管弦楽組曲第2番より

シューベルト：弦楽四重奏曲第14番「死と乙女」ほか

(尺八) 藤原道山

世界最高峰のウィーン・フィルの精鋭と“和楽器の貴公子”尺八の名手・藤原道山が紡ぎ出す驚嘆！和洋融合奇蹟の響きでクラシック演奏に新たな歴史を刻む画期的コンサート。

7. 『キューピースペシャル ニューイヤー・コンサート 2015』

ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団』

平成27年1月9日(金) 18時45分開演

(指揮) ルドルフ・ビーブル

(演目) ヨハン・シュトラウスⅡ：「美しく青きドナウ」ほかワルツ、ポルカ、
オペレッタ名曲集

新年を華やかに飾る至福のひととき！毎年恒例、オペレッタの殿堂ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団が繰り広げるウィーン情緒たっぷりの大人気コンサート。

8. 『セクスイハイム presents』

辻井伸行 with ヴァシリー・ペトレンコ&ロイヤル・リヴァプール・フィル』

平成27年1月29日(木) 18時45分開演

(演目) ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番

ショスタコーヴィチ：交響曲第10番 ほか

(ピアノ) 辻井伸行

辻井がピアニスト生命をかけて、ラフマニノフを弾き、ロシアのヴァシリー・ペトレンコがショスタコを振るという、若き俊英二人が二大難曲に挑む！

■映画

第六弾 「ホームレス理事長 ～退学球児再生計画～」

【公開日】平成26年2月15日（土）ポレポレ東中野

2月22日（土）名古屋シネマテーク

3月15日（土）第七藝術劇場（大阪）ほか 順次公開予定

【プロデューサー】阿武野勝彦（東海テレビ）

【音楽】村井秀清

【撮影】中根芳樹

【監督】土方宏史

【制作・配給】東海テレビ放送【宣伝協力】東風

【内容】

この作品は、様々な理由で高校を中退した球児たちに、もう一度、野球ができる環境と高校卒業の資格が取れるチャンスを、というNPO法人「ルーキーズ」（愛知県常滑市）に、1年間密着したドキュメンタリー。子供たちではなく、この団体を支えている大人たちを追う。家賃が払えなくなってアパートを退去せざるを得なくなっても子供たちを守ろうとする理事長。その泥臭く、要領も悪く、しかし前へ進もうとする姿が、映画界では名作「ゆきゆきて、神軍」のソフトバージョンのようだ、など注目を集めている。

第七弾 「神宮希林 わたしの神様」

【劇場公開】平成26年4月末 or 5月初旬

東京：オーディトリウム渋谷ほかにて、ロードショー予定

【出演】樹木希林、岡野弘彦 ほか

【特別協賛】赤福

【協力】神宮本庁、神宮司廳

【制作・配給】東海テレビ放送【宣伝協力】東風

【内容】

この作品は、樹木希林さんの東京渋谷の自宅から、人生初のお伊勢参りに同道し、神様とは、そして、この時代について考えていく。ロケは、2か月に及び、神宮、伊勢市内の旅から、神宮林の山登り、被災地宮城県石巻市雄勝の再建された神社、木曾のキコリ、鳥羽の海女、そして、伊豆在住の歌人、岡野弘彦さんへと誘われていく。最後には、「祈り」に出会った40年前のエピソード、そして夫・内田裕也さんについて仏典に照らして語り始めるなど人間・樹木希林が立ち現れてくる。今という時代に、見えないものを感じることを、そして祈りとは何か、この旅の映画化について、「生きることに疲れたら、どうぞ、眠りに（映画館に）来てください」と希林さんは話している。

<ご参考>

2011年1月から、東海テレビは、ドキュメンタリー映画の劇場上映を展開してきました。これは、全国に発信できない良質な作品を、映画館というチャンネルで公開していこうという試みです。

第一弾で、『平成ジレンマ』（モンテリオール国際映画祭正式招待）で戸塚ヨットスクールの今を描き、第二弾『青空どろぼう』で四日市公害を振り返り、第三弾『死刑弁護人』（日本民間放送連盟賞最優秀賞・芸術祭優秀賞ほか）で日本の刑事司法にアプローチし、第四弾『長良川ド根性』（平和・協同ジャーナリスト賞）で河口堰建設から16年後の漁師たちの姿をとらえ、第五弾『約束～名張毒ぶどう酒事件 死刑囚の生涯～』で、長期にわたる取材を、仲代達矢、樹木希林の出演を得て映画化に取り組んできました。この間、『約束』は映画館動員2万3000人、また、自主上映76ヶ所に広がっています。

ドキュメンタリー映画の劇場上映については、当社の後、南海放送、毎日放送、琉球朝日放送が続き、今年3月には仙台放送も作品をロードショーすることになっています。

以上